

練馬区立美術館・貫井図書館改築等基本設計の概要について

1 設計方針

- (1) 年齢や障害に関わらず、誰もが美術館・図書館、美術の森緑地を一体的に利用できるようユニバーサルデザイン設計を導入する。
- (2) 美術館と図書館の従来の基本的機能を維持したうえで、機能的・空間的に融合し、互いの特徴を活かしたイベント等が展開できる機能空間を創出する。
- (3) 環境に配慮するため、ZEB Ready（一次エネルギー消費量 50%以上削減）を目指し、建物の省エネ化を図る。
- (4) 中村橋駅や商店街、所々に設けられたアートスポットが連なる大きな回遊路（アート・コミュニケーション・コリドー）の一部として位置付け、まちと一体となった美術館・図書館として、まちに開かれた建物とする。
- (5) 美術の森緑地はパブリックスペースとして、既存の屋外彫刻群を活かしたまちとつながる公園空間とする。

2 設計概要

(1)美術館・図書館

構造：鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造（地上5階、地下1階建て）

敷地面積：約 4,090 m²

建築面積：約 3,270 m²

延床面積：約 8,600 m²

美術館ゾーン：約 3,300 m²

図書館ゾーン：約 1,300 m²

共用ゾーン：約 2,700 m²

管理ゾーン：約 1,300 m²

計画諸室：収蔵庫、展示室、区民ギャラリー、創作室、開架書架、閉架書庫、グループ学習室、ブック・アート・キッズスペース、対面朗読室、多目的室、カフェ等

(2)美術の森緑地

敷地面積：約 1,890 m²

3 配置図等

別紙のとおり

4 概算工事費

美術館・図書館改築概算工事費 約 89.8 億円

美術の森緑地改修概算工事費 約 1.5 億円

5 スケジュール（予定）

令和5年度 実施設計着手

令和7年度 実施設計完了

工事着工

令和10年度 工事竣工

開館

6 周知

(1) 基本設計概要の区ホームページ掲載

(2) 基本設計概要パネル展の開催

ア 日時

令和6年3月16日（土）13：00～18：00

3月17日（日）10：00～18：00

3月19日（火）10：00～18：00

イ 会場

美術館区民ギャラリー

ウ 周知

ねりま区報（3月1日号）、ホームページ

■配置計画

1)配置計画について

①明確に分離した動線計画

- ・南北にそれぞれエントランスを設けて、利用者が迷うことなく入館できる配置とする。
- ・西側に職員用動線・搬入動線を振り分けて、歩車分離を明確にし、利用者の安全性に配慮する。

②近隣に配慮した植栽計画

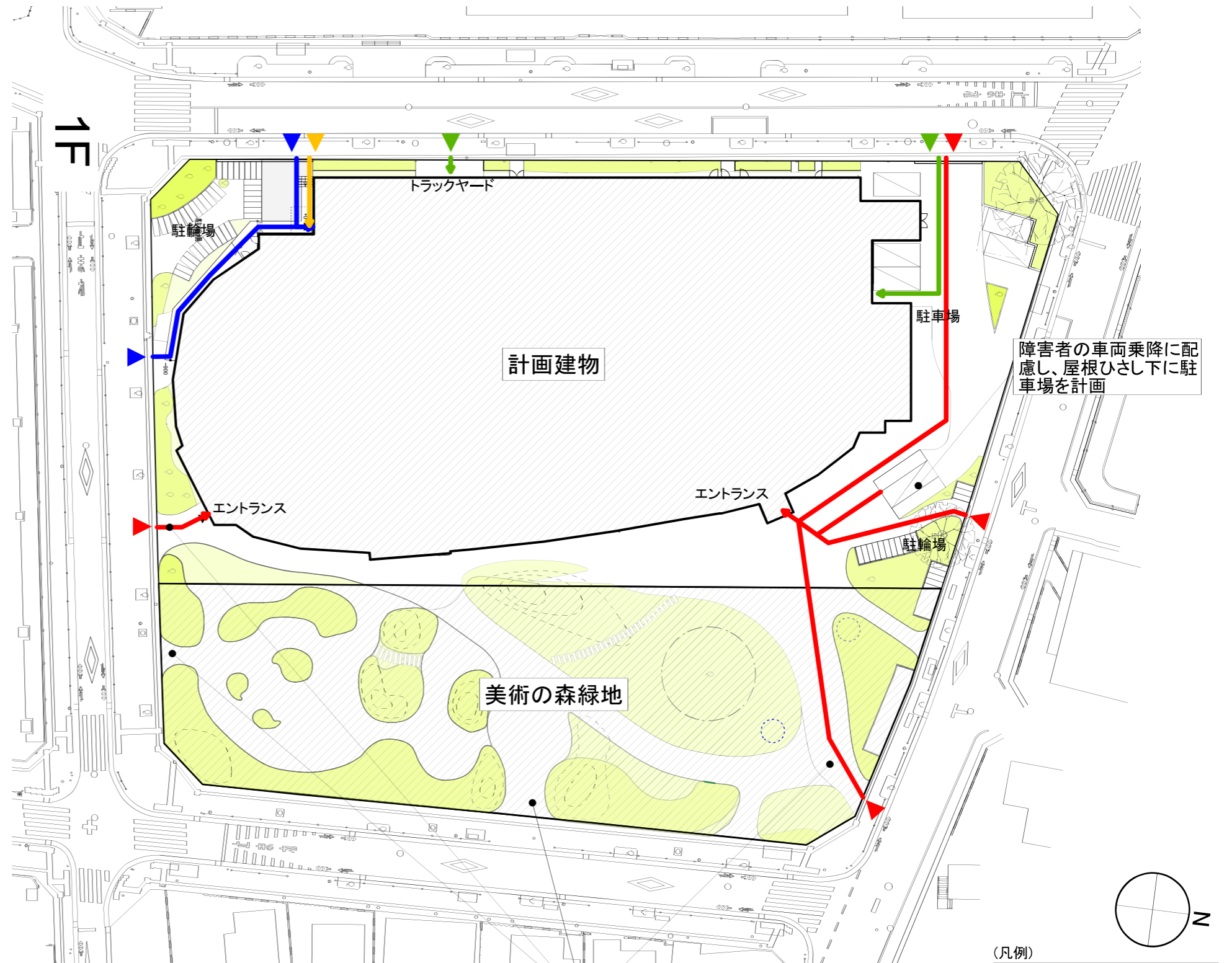
- ・近隣建物に配慮し、各敷地境界に緩衝帯として植栽を整備する。

③美術館・図書館と緑地の一体的整備

- ・美術館・図書館と美術の森緑地を一体的に利用できるようにするために、敷地東側の境界は緑地と広場が横断するような計画とする。

④利用者の動線計画

- ・館内、屋外を含めた全ての利用者ゾーンに段差なしでアクセスが可能な計画とする。



障害者の車両乗降に配慮し、屋根ひさし下に駐車場を計画

段差を最小限にしたフラットな園路となるような動線計画

配置図 S=1/500

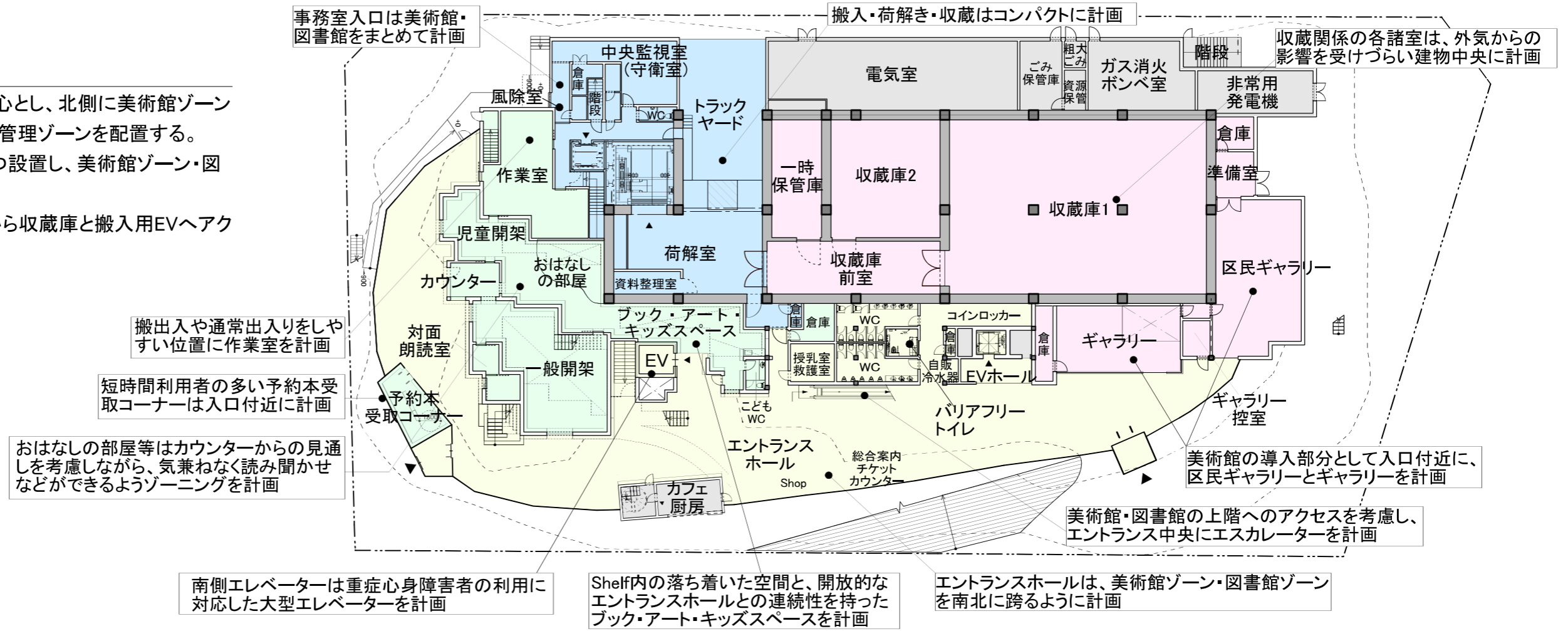
(凡例)

- 一般動線
- 職員動線
- 搬入動線(美術館)
- 搬入動線(図書館)

■ 平面計画

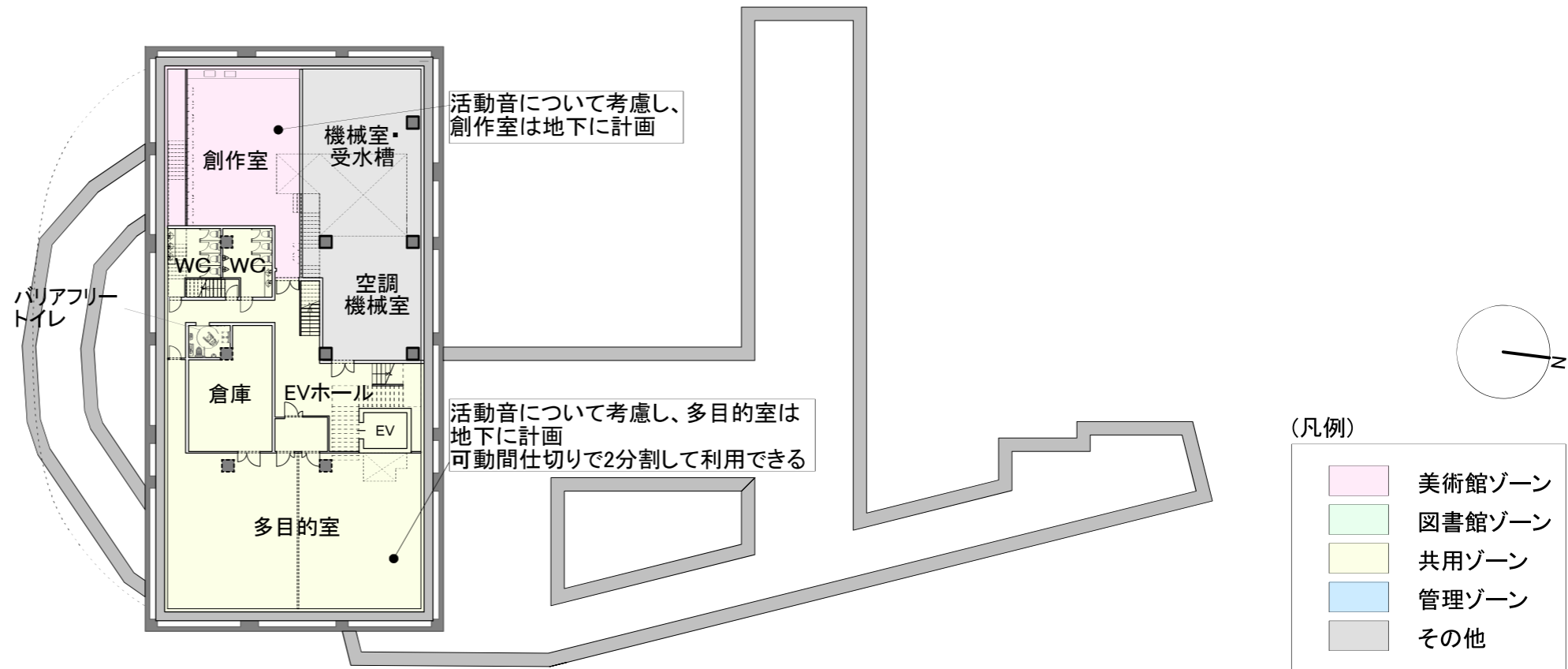
1階平面計画

- ・1階はエントランスホールを中心とし、北側に美術館ゾーン、南側に図書館ゾーン、西側に管理ゾーンを配置する。
- ・南北に来館者用EVを一台ずつ設置し、美術館ゾーン・図書館ゾーンの移動に利用する。
- ・搬入は西側のトラックヤードから収蔵庫と搬入用EVへアクセスし易い計画とする。



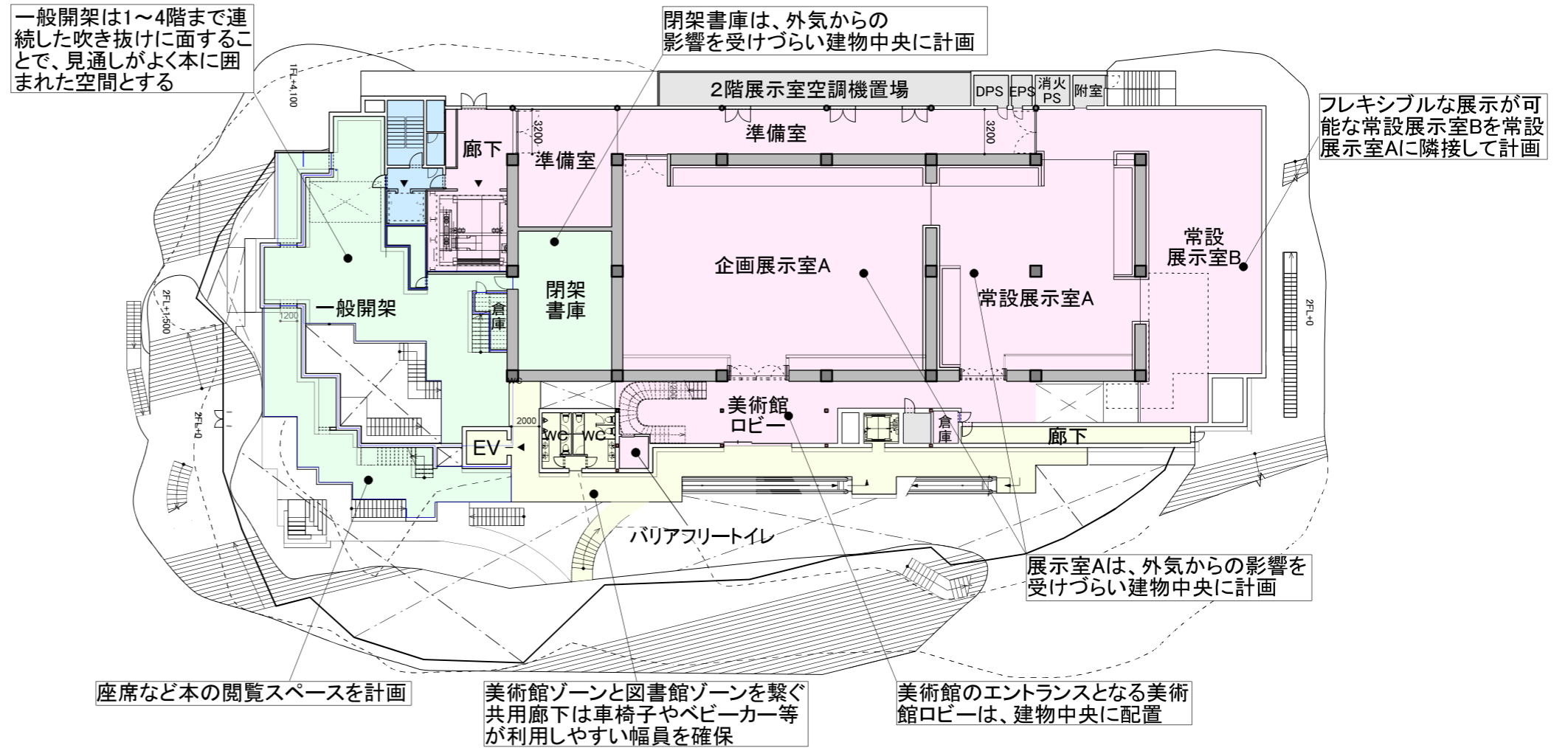
B1階平面計画

- ・B1階は、活動音について考慮し、多目的室と創作室を配置する。
- ・既存建物の地階を再利用することで、コスト・環境に配慮した計画とする。



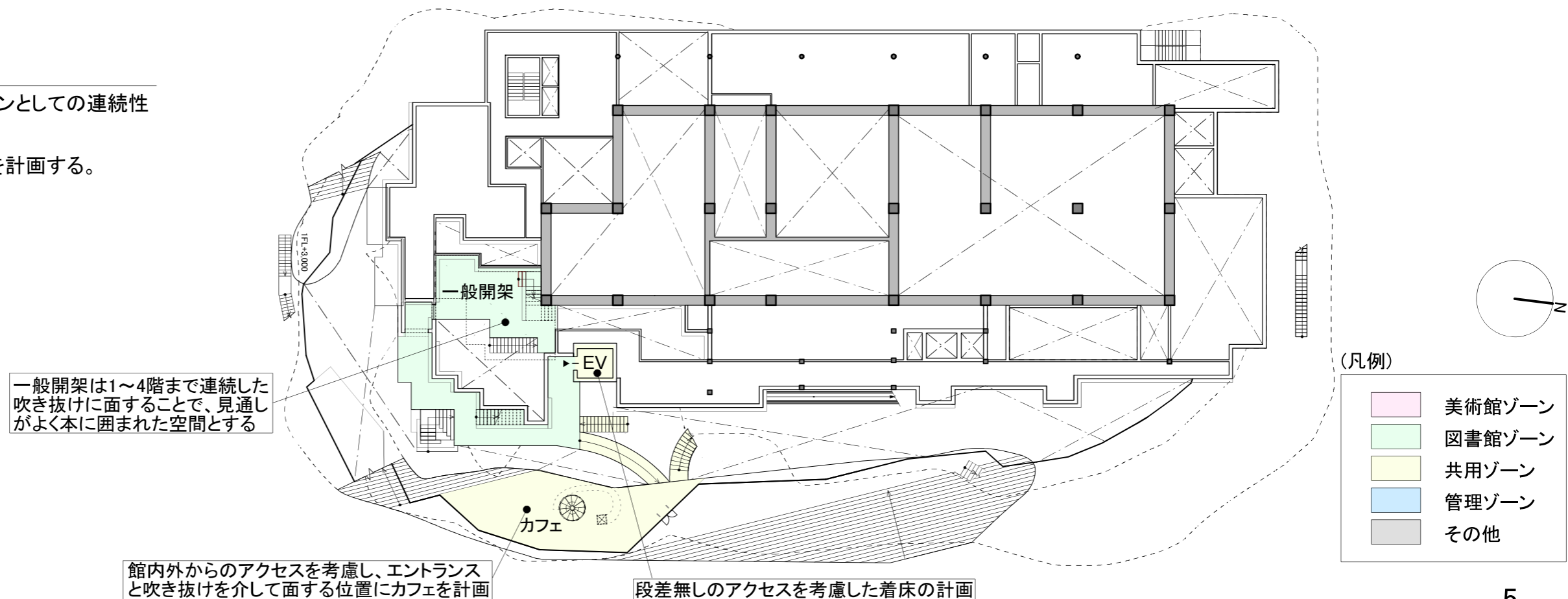
2階平面計画

- ・1階と同様に、北側に美術館ゾーン、南側に図書館ゾーンを配置する。
- ・南北を繋ぐ廊下は美術館ゾーン・図書館ゾーンを行き来する動線だけでなく、廊下沿いの棚を活用できる計画とする。
- ・南北に来館者用EVを一台ずつ設置し、美術館ゾーン・図書館ゾーンの移動に利用する。
- ・北側のエスカレーターは2階中央付近に着床する位置に計画。
- ・2階の展示室は2つの常設展示室と、1つの企画展示室を計画。
- ・搬入用EVの乗り降り場から直接各展示室へアクセスしやすい計画とする。



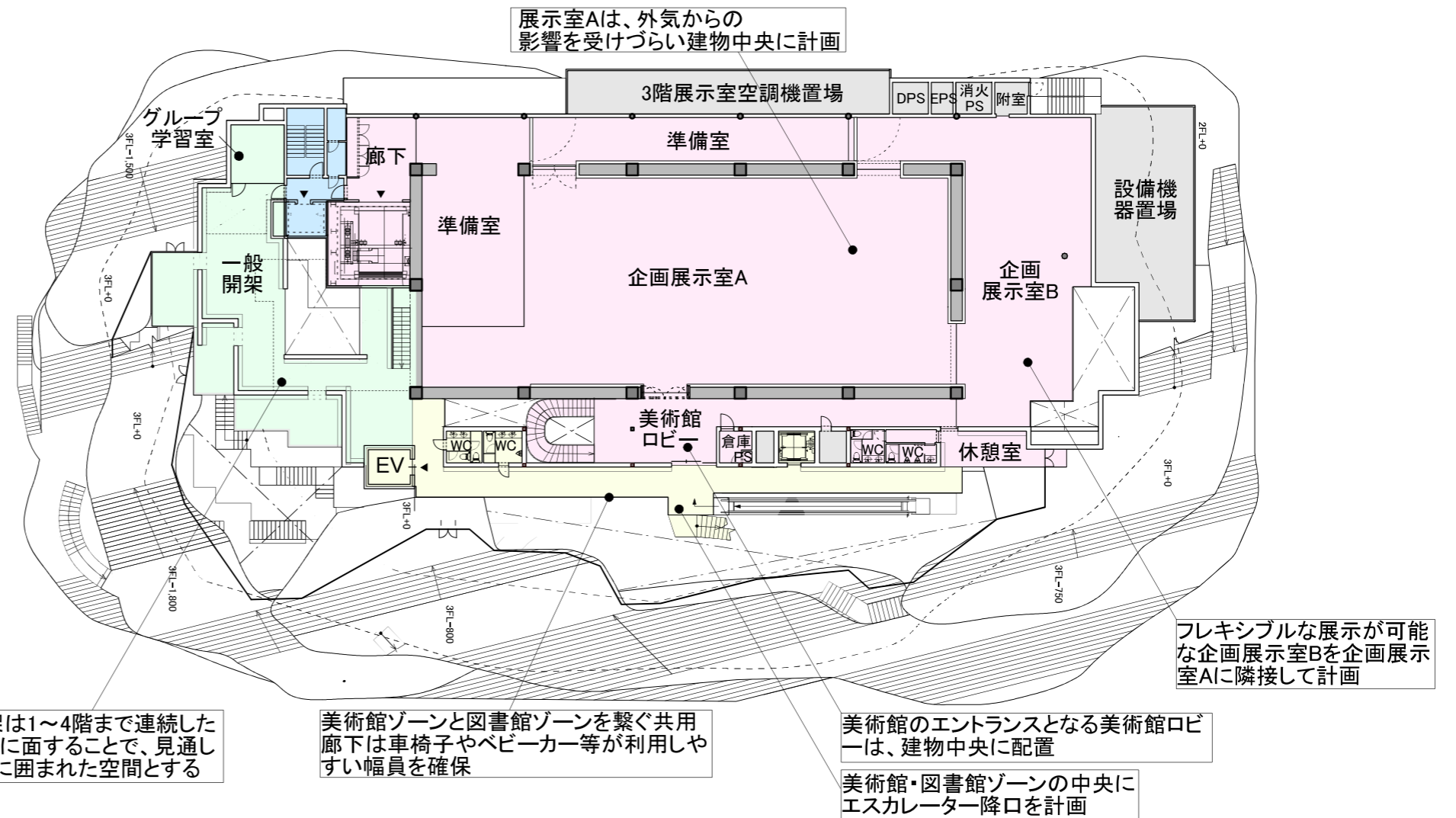
1.5階平面計画

- ・1階と2階の中間の1.5階は、図書館ゾーンとしての連続性を考慮して開架を計画。
- ・館内外からのアクセスを考慮し、カフェを計画する。



3階平面計画

- ・1階と同様に、北側に美術館ゾーン、南側に図書館ゾーンを配置する。
- ・南北を繋ぐ廊下は美術館ゾーン・図書館ゾーンを行き来する動線だけでなく、廊下沿いの棚を活用できる計画とする。
- ・南北に来館者用EVを一台ずつ設置し、美術館ゾーン・図書館ゾーンの移動に利用する。
- ・北側のエスカレーターは3階中央付近に着床する位置に計画。
- ・3階の展示室は2つの企画展示室を計画。
- ・搬入用EVの乗り降り場から直接各展示室へアクセスしやすい計画とする。



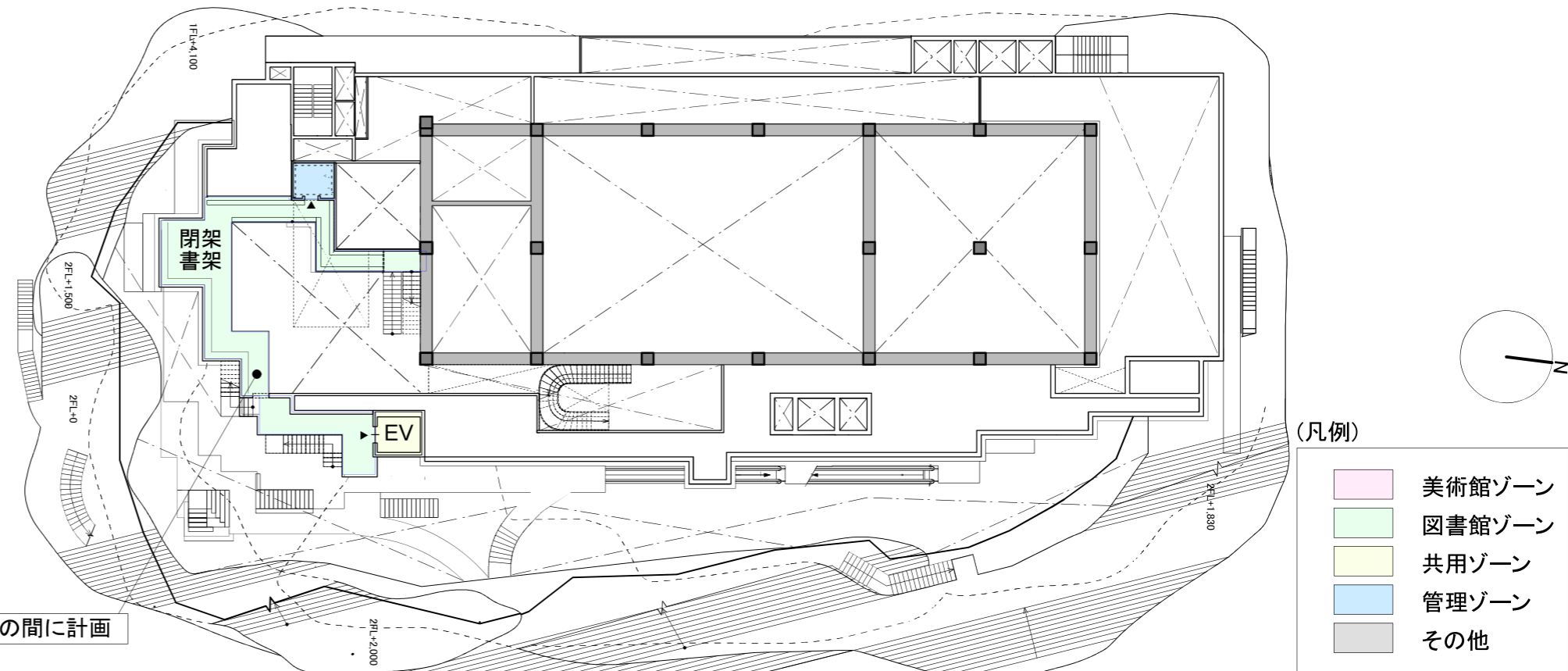
一般開架は1～4階まで連続した吹き抜けに面することで、見通しがよく本に囲まれた空間とする

美術館ゾーンと図書館ゾーンを繋ぐ共用廊下は車椅子やベビーカー等が利用しやすい幅員を確保

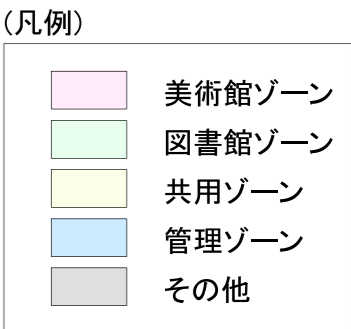
美術館のエンタランスとなる美術館ロビーは、建物中央に配置
美術館・図書館ゾーンの中央にエスカレーター降口を計画

2.5階平面計画

- ・2階と3階の中間の2.5階は、図書館ゾーンとしての連続性を考慮して閉架書架を計画。

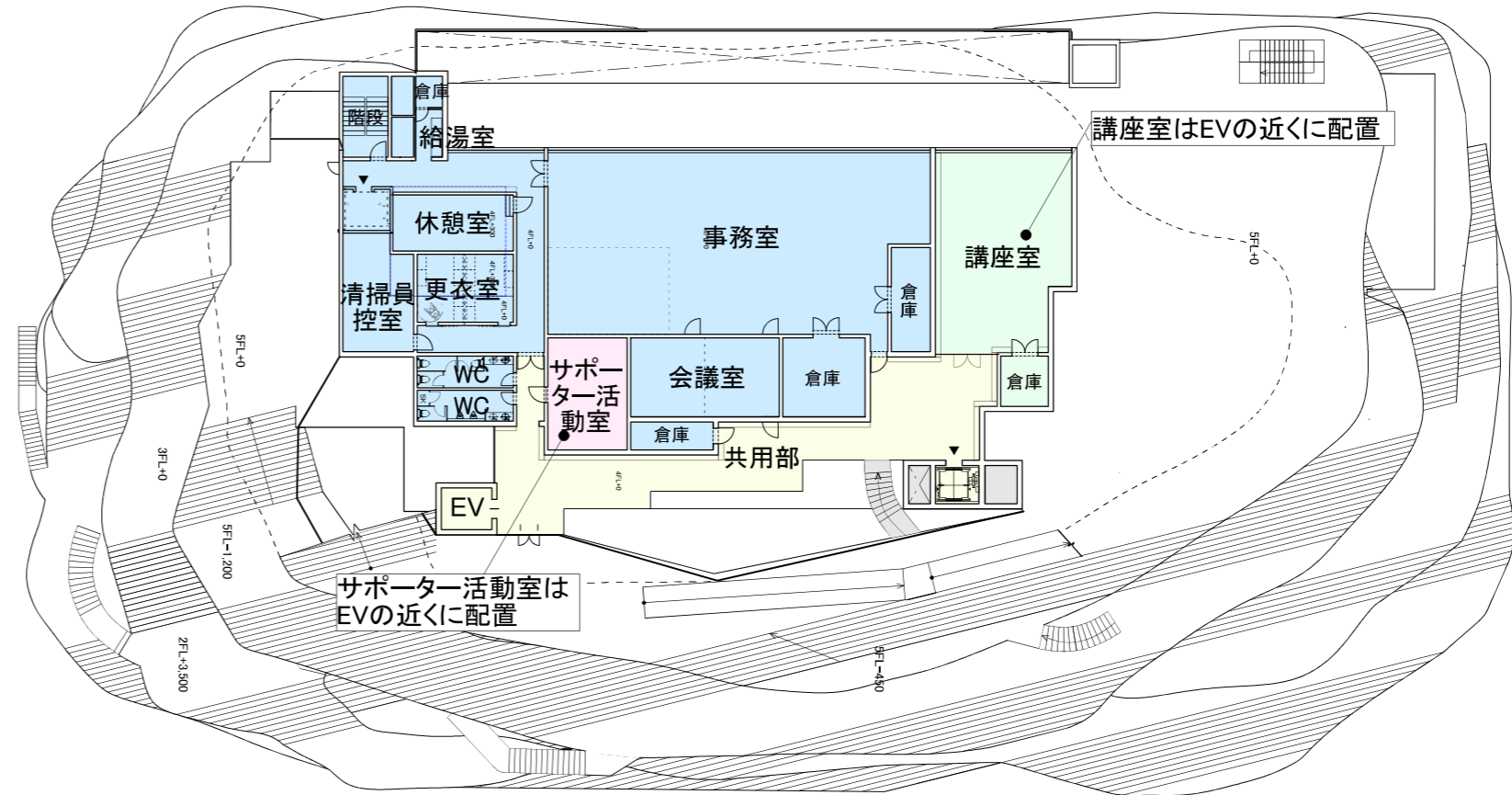


閉架書架を2Fと3Fの間に計画



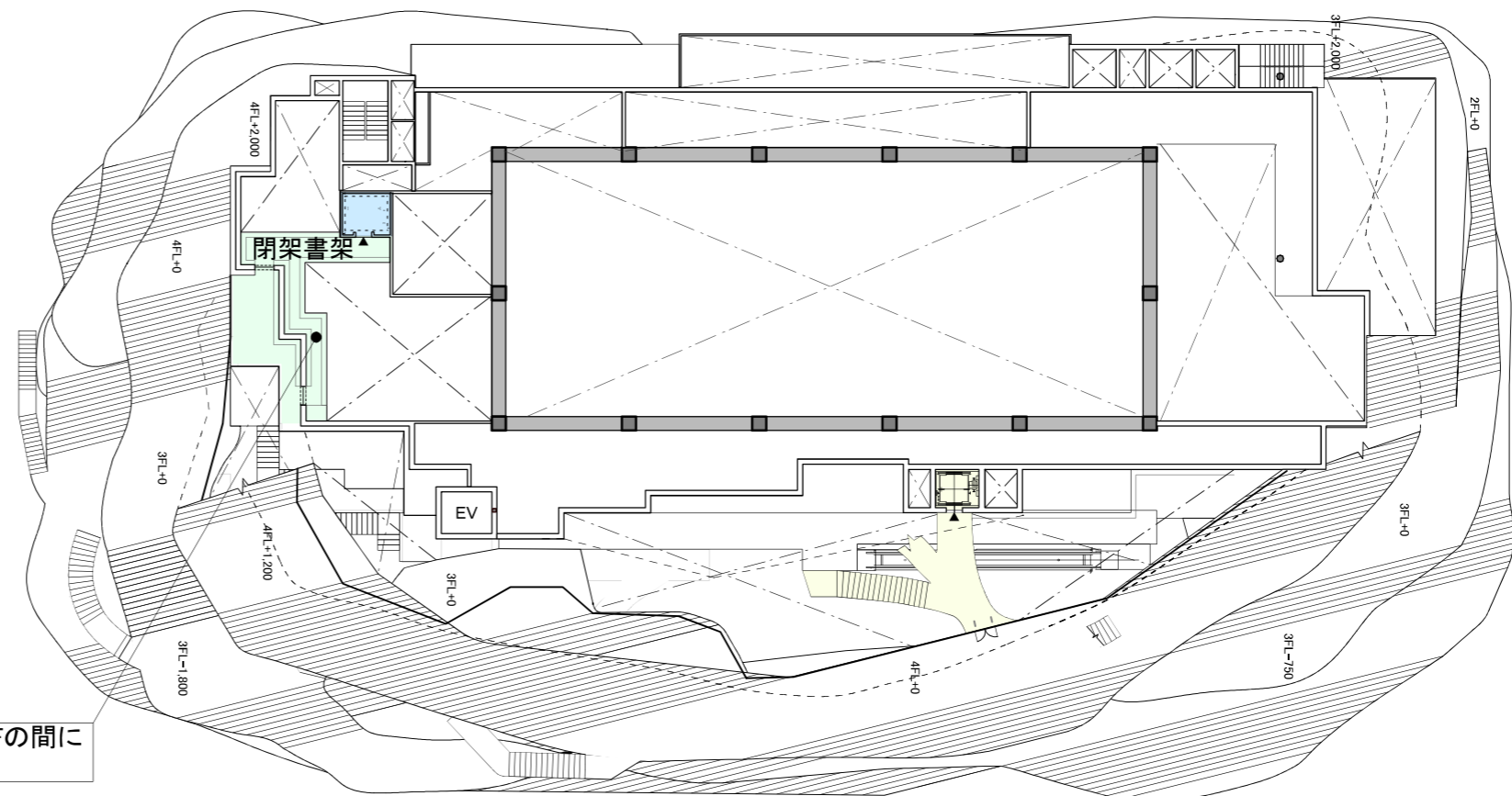
5階平面計画

- ・館全体を見渡し易い最上階には、事務室を中心とした管理諸室を計画。
- ・館全体の運用計画をしやすいように、美術館事務室と図書館事務室を一体として計画。
- ・講座室・会議室・サポーター活動室を各EV近くに計画。



4階平面計画

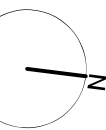
- ・図書館の内部吹き抜けの最上階には、図書館ゾーンとしての連続性を考慮して閉架書架を計画。



閉架書架を3Fと5Fの間に計画

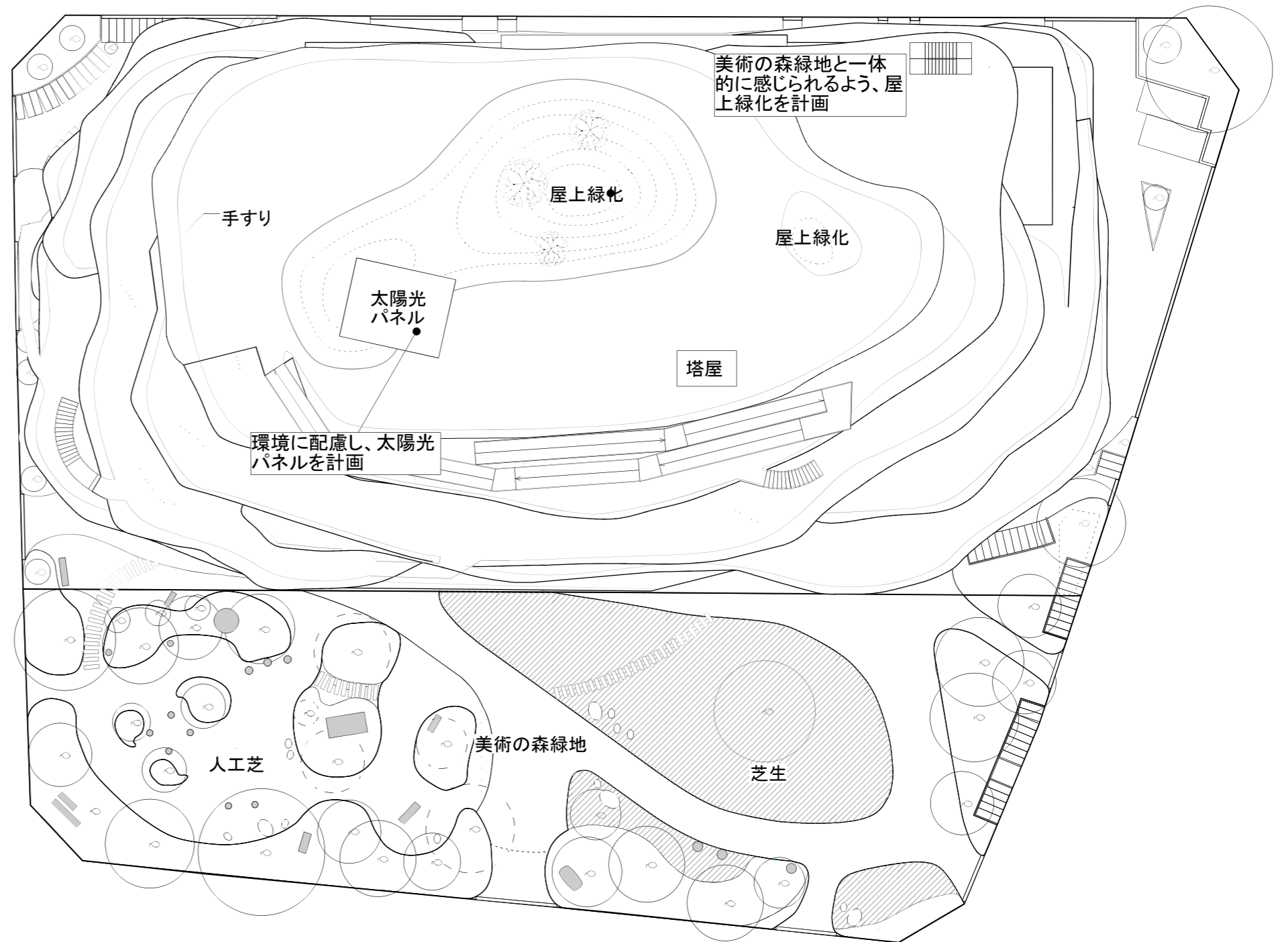
(凡例)

美術館ゾーン	美術館ゾーン
図書館ゾーン	図書館ゾーン
共用ゾーン	共用ゾーン
管理ゾーン	管理ゾーン
その他	その他








屋上階・緑地平面計画

- ・緑地と一体的に感じられるよう、屋上緑化を計画。
- ・環境に配慮して、太陽光パネルの設置を計画。
- ・Shade上(屋根)を開放することで緑地と一体的に使用できるように計画。
- ・既存樹木を活かし、「庭」のような親しみやすい住宅のみの延長線上にある緑地とする。
- ・季節感を楽しめる植栽とする。
- ・植栽の管理負担を考慮した樹木で構成する。



(凡例)

	美術館ゾーン
	図書館ゾーン
	共用ゾーン
	管理ゾーン
	その他

■景観計画(立面図)

1)景観計画について

- ・計画地は練馬区景観計画で「街なか住まい景観ゾーン」に位置する。
- ・景観街づくりの方針「豊かな公園緑地が整備された調和のあるまちなみを形成」に基づき、中高層住宅団地や道路基盤の整った中高層住宅を主とした区域という特性に配慮した計画を行う。
- ・練馬区景観計画の公共施設の景観整備に基づいた計画を行う。

①周辺環境に配慮した景観・外観計画

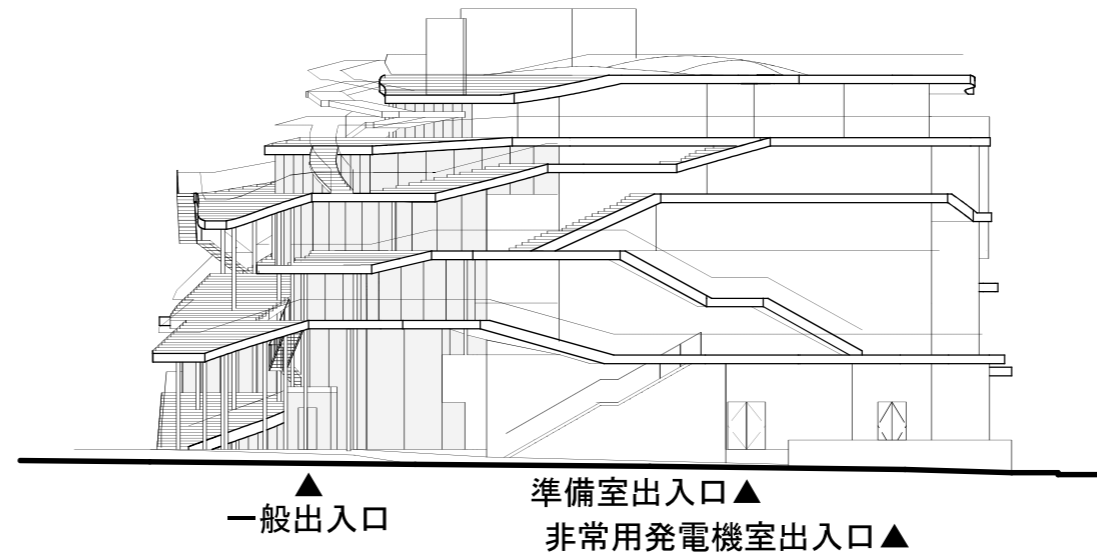
- ・南北に長い敷地に建つため、南北に長くなりがちな建物の両端部を低く抑えることで、近隣への圧迫感や日照に配慮した計画とする。
- ・道路境界線沿いには、道路から見える位置に植栽を設け緑に囲まれた景観に寄与する計画とする。
- ・駐車場や駐輪場は、目立たないように植栽などを配置する。
- ・西側の室外機置場からの騒音に配慮し、防音壁を設置する。
- ・北側の室外機置場の周囲には人工木のルーバーを設け、景観に配慮する。

②統一感のある景観・外観計画

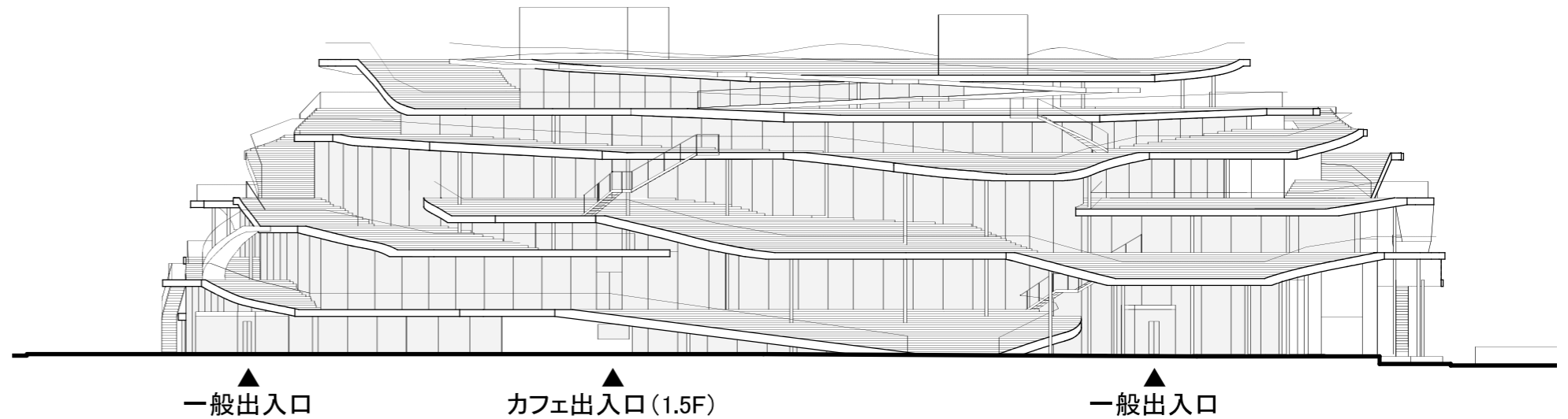
- ・壁面は多くを木質系外壁を採用し落ち着いた色彩計画とする。

③美術の森緑地と調和する外観計画

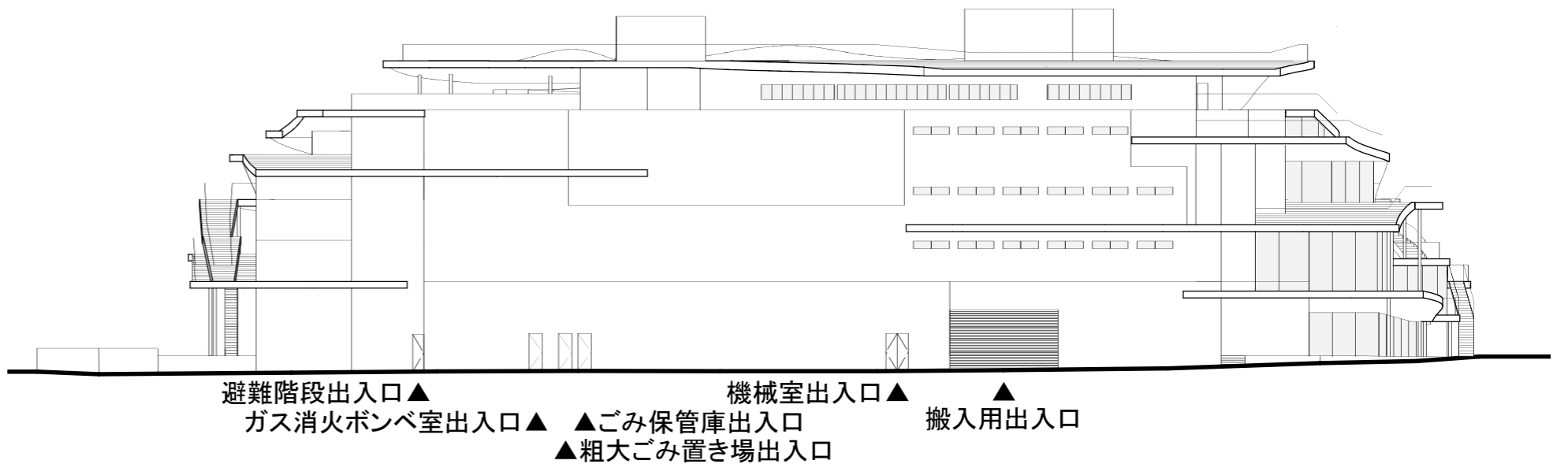
- ・隣接する美術の森緑地との間に、一体的なオープンスペースや植栽を設けるなど緑地と調和する計画とする。
- ・隣接する美術の森緑地に面する外壁はガラス張りとし、連続性を確保する。



北側立面図 S=1/400



東側立面図 S=1/400



西側立面図 S=1/400













